



外国出張報告書

平成 26 年 12 月 3 日

1. 出張国名 ガーナ、ブルキナファソ
2. 出張月 平成 26 年 9 月～10 月
3. 出張目的 ため池現況調査（流域、水位、利用状況）、セミナー出席、木製柵渠の劣化試験（低コスト水利施設）：B

4. 成果の概要

(1) 低コスト水利施設

木製柵渠（木柵）の耐久性の検証に必要な経年変化を把握するため、昨年までと同様、この時期に既設木柵部材の被害状態を把握した。また、相手国機関（クワメエンクルマ大学：KNUST）とともに木柵のシロアリ食害に対する補強加工のための暴露試験を実施した。

(2) アフリカ稲作普及

ガーナ国において、ため池の現状、利用方法に関して詳細な情報を収集した。水収支分析を行うため、前回出張までに設置した水位計の動作確認を行い、データを回収すると共に、雨期の貯水利用状況を把握した。

ガーナ国側の関係機関（MOFA、KNUST）と意見交換を行うためにTechnical Committeeを開催した。

また、ブルキナファソ国において、既存ため池水利施設の小規模な補修方法の事例調査を行った。